

メジロとランチ♪2014年度結果報告

大阪市立大学 堀江明香

今年度もメジロのさえずり調査、「メジロとランチ♪」プロジェクトにご参加、ご協力、ありがとうございました。この調査の目的は、異なる地域に棲むメジロたちの子育て戦略の違いを探ることです。繁殖期、特に卵を生む前や抱卵期には、メジロたちは朝夕だけでなく、お昼にも活発にさえずりを行うので、ランチタイムを中心にメジロのさえずり状況をご報告頂くことで、大体の繁殖期をみなさまと一緒に探っていけたらと思っています。

大変遅くなりましたが、2014年度の結果についてご報告致します。今回の調査では、初鳴き調査：35名から37地点の情報、メジロとランチ♪：41名から229件の情報が得られました。みなさま、ありがとうございました。みなさまから頂いたデータもかなり蓄積されてきており、いろいろなことが分かってきました。以下にご報告いたします。

■初鳴き調査：さえずり初めの目安は10℃！

その年はじめて聞かれたさえずり日を教えて頂く初鳴き調査からは、メジロのさえずりが南から北へと桜前線のように北上していく様子が分かってきました（図1）。春の遅い北の地方にいくほどさえずり始めるのが遅くなっているのが分かるかと思います。

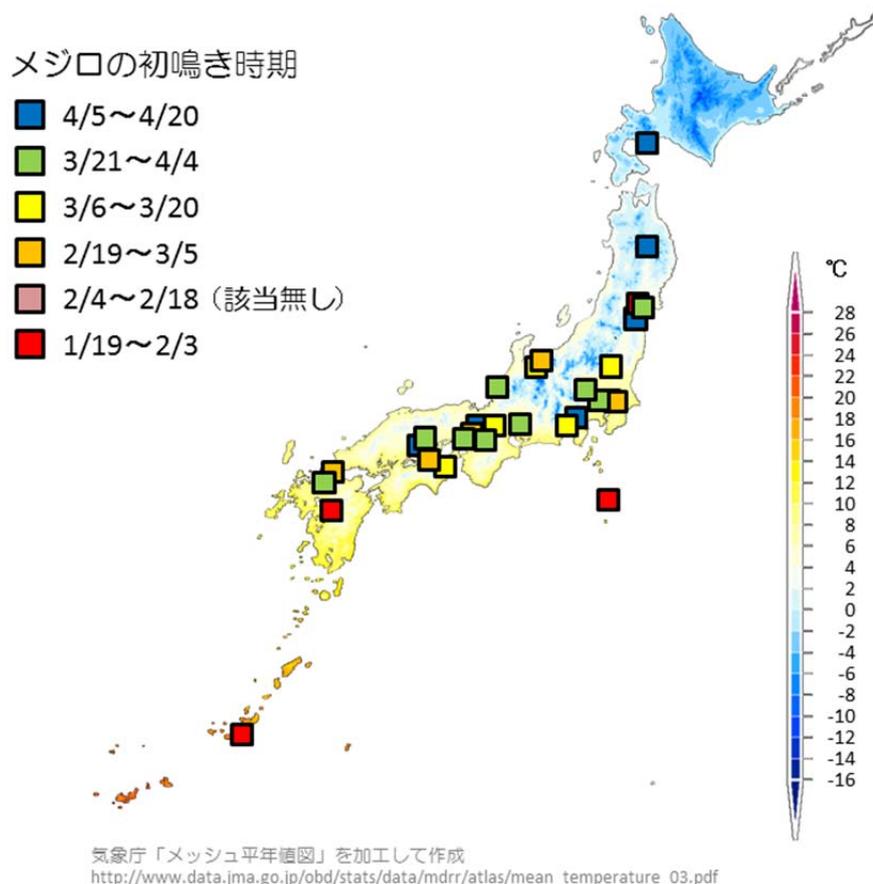


図1：3月の平均気温（1981～2010年の平年値）にメジロの初鳴き時期を重ねたもの

メジロたちがどのような条件でさえずり始めるのかは、まだ検討し始めたばかりですが、北と南で大きく異なる条件として気温を検討してみました。初さえずりが報告された場所・その日の気温を調べてみたところ、さえずり開始日の日平均気温は平均 10°C でした。冬の小春日和にも軽くさえずることはあるようで、さえずり初めの気温には 2~16°C と幅がありましたが、本格的なさえずりは日平均気温が 10°C に近づく頃から始まるのではないかと考えています。

面白いことに、北の地方に棲むメジロは時期こそ 4~5 月と遅くにさえずり始めますが、南の地方に棲むメジロより低い気温の中でさえずりを開始するらしいのです (図 2)。北海道や北日本のメジロは夏鳥であり、冬は南に渡っていきます。そもそも暖くなるのが遅いのに加え、渡りの前には子育てですり切れた羽を生え替わらせる換羽を行わねばなりません。そのため、北の地方に棲むメジロは多少寒くとも、子育て開始をギリギリまで前倒しにしているのかもしれない。

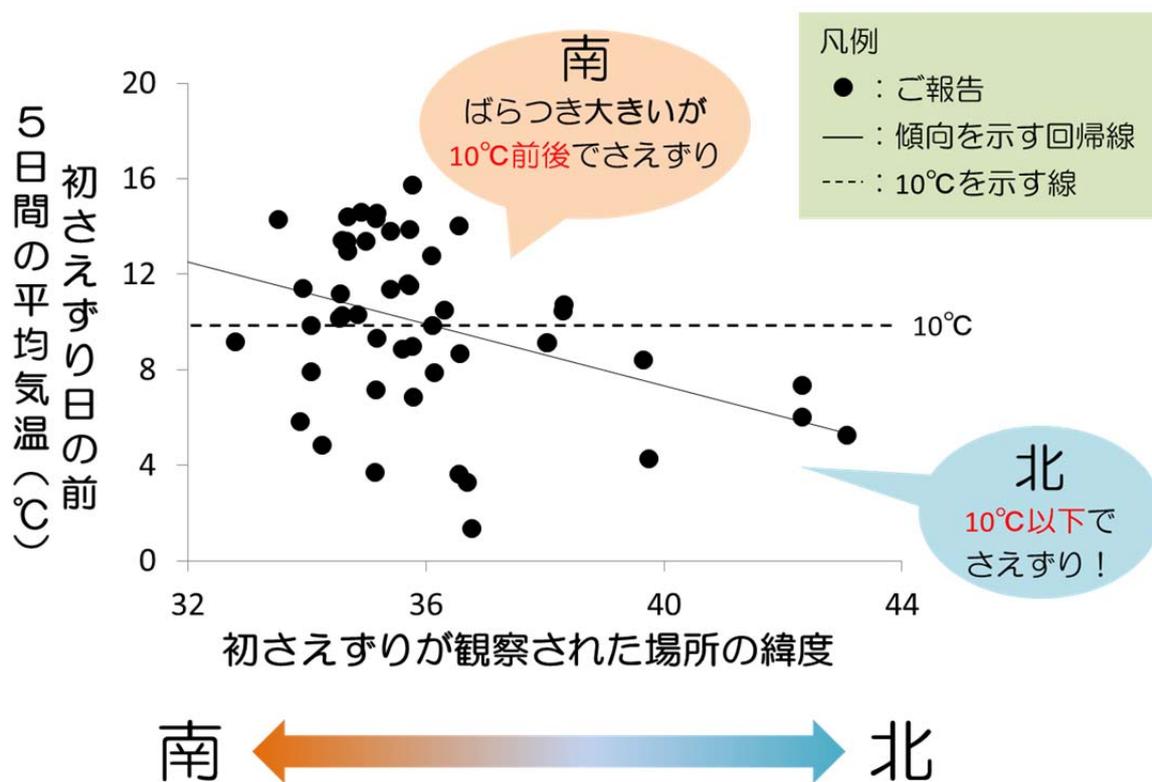


図 2 : 初さえずりが観察された場所の緯度とさえずり時期の平均気温の関係

南でも一部、寒い状況でさえずる個体もいるが、概ね 10°C 前後でさえずり。

一方、北緯 40°C 以上 (東北近辺より北) になると、10°C 以下の気温でさえずり初めます。

■メジロとランチ♪ : さらに情報募集中!

メジロとランチ♪の結果はまだまだデータが十分とは言えませんが、地方ごとにデータをまとめることでメジロたちがお昼によくさえずる時期がぼんやりと分かってきました (図 3)。

太平洋側では緯度の比較的高い関東地方でも 3 月ごろから活発にさえずる傾向があり、中国地方は少し遅れてさえずりが活発化します。中部地方では南の地方に比べてさえずりが活発化するのが遅く、ピ

ークは6月。南の島、小笠原諸島では早くから活発にさえずっていますが、5月以降のデータがないので、傾向はまだよく分かりません。九州地方ではほとんどさえずりが聞かれなかったという報告でしたが、まだ1,2カ所からの報告しかなく、今後の結果が待たれます。いずれの地方でも8月にはさえずりが沈静化するようです。沖縄・四国・東北・北海道地方はまだデータが少なく傾向は不明です。ぜひ情報提供をお願い致します！

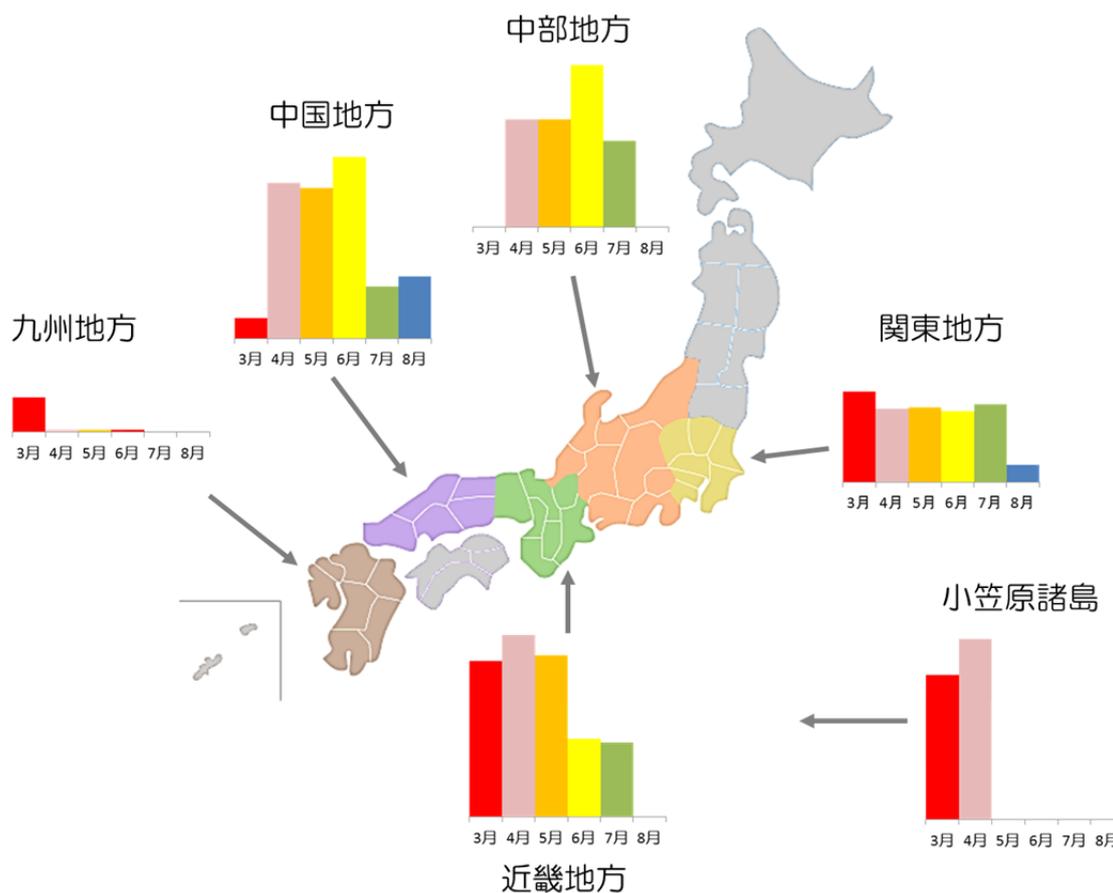


図3：地方ごとに示したさえずり状況の季節変化。

さえずりの状況（なし・短時間・何度も・ずっと）から計算した、相対的なさえずり頻度を棒グラフの高さで、バーの色は月の違いを表しています。さえずり頻度は2回以上のご報告があった月から算出し、2ヶ月分以上の結果があった地方だけを図示。棒グラフが表示されていない月はご報告がなかったために傾向が分からないことを示しています。

いかがだったでしょうか。そろそろ鳥たちも活発になり、メジロもさえずり始めるシーズンになってきました。2015年度もみなさんとさえずりのデータを蓄積させることで、子育ての最盛期がいつなのか、探っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します！